



▲ 1日たっぷりと、冬の裏磐梯で遊びました♪



▲北塩原村の子ども達との楽しい交流も2回目

冬の裏磐梯で遊ぶ雪っ子体験

1月18日、福島県北塩原村から招待を受け、村の小中学生16人が冬の裏磐梯でスキー・スノーボードを体験しました。同村からの招待は、昨年に続き2回目です。

午前中は、裏磐梯スキー場でインストラクターによるスキー・スノーボード教室が行われ、参加した子ども達は班に分かれてターン等を練習。午後は、北塩原村の子ども達が加わり、一緒にスキーを行い、コースにセットされた旗門を滑る体験も行いなど、雪上で交流を楽しみました。

今回、2回目の参加となった高橋優太くん（飯樋小6年）は昨年に続き、スノーボードに挑戦。「木の葉すべりやターンなど、たくさん教えてもらいました。転ぶことも多くあったけれど、最後はうまく滑れて良かったです」と白銀の世界での体験を振り返りました。



▲手で触れると画像が動きます



▲贈呈式には、ライオンズクラブの会員らが出席

「触れる地球」が小学校に

1月7日、飯館ライオンズクラブから草野・飯樋・白石小学校に「触れる地球」が寄贈されました。「触れる地球」が学校に設置されるのは全国で初めてです。

「触れる地球」は、半球状の地球儀と連動しデジタル画像が映し出されるもので、高さ約1メートル40センチ、直径80センチの球体ディスプレイです。インターネットに接続することで、地球の温暖化や台風・津波の発生過程、渡り鳥の移動、主要都市の景色などが見られます。

この触れる地球は、ライオンズクラブ国際協会の助成を受け、飯館ライオンズクラブより寄贈されたもので、避難生活を送っている児童らの学習が充実するようにとの思いが込められています。

児童代表で感謝の言葉を述べた神代優太さん（草野小6年）は「自然環境や地理の勉強が楽しくなりそうです」と喜びの声を伝えました。

今後、小学校では社会や理科の授業で活用する予定です。



▲入賞者には、賞状と図書カードが贈られました

わたしの好きな本を紹介します。 第15回読書メッセージ 入賞決まる

村教育委員会は、第15回読書メッセージコンテストを開催。275通の応募の中から、飯館村長賞（最優秀賞）に細杉れいみさん（白石小5年）が書いた「こころの花たば」の推薦メッセージが選ばれました。

今回のコンテストで、入賞した16作品は、「こあら号」で貸し出しを行っていますので、ぜひご一読ください。

- 読書メッセージ
審査結果

飯館村長賞（最優秀賞・全部門）
細杉 れいみ（白石小・5年）

飯館村教育長賞（優秀賞・中高）
川井 夏緒（飯館中・3年）

飯館村小学校長賞

庄司 大夢（草野小・2年）
高橋 妃来（飯樋小・3年）
白戸 凌駕（白石小・1年）

飯館村公民館長賞（優秀賞・一般）
赤石澤 君子（一般）

JPIC賞（優秀賞）

濱野 楓（相農飯館校・3年）
坂本 春菜（飯樋小・6年）
渡邊 栞（福島西高・1年）
星 慎治（飯樋小・1年）
渡邊 成美（相農飯館校・2年）

こあら号賞（佳作）

伊東 琴美（草野小・6年）
千葉 萌香（白石小・5年）
花井 沙也香（飯館中・1年）
三坂 裕美子（一般）
高野 花月（飯樋小・5年）



▲「丈夫で過ごせますように」いただきます！



▲仕上りを眺めつつ由来を教わりました

草野・飯樋幼稚園で、小正月の行事「だんごさし」が行われました。ミズキ（だんごの木）や手作りのだんごを準備し協力したのは「飯館村文化財愛好会」の9人の皆さん。園児がだんごをさす時には、高い枝を下げて園児を抱き上げたりして手伝い、子どもたちの仕草や真剣な表情を笑顔で見つめました。

だんごさがしが終わると、園児はホールにイスを並べ、会の皆さんから昔のだんごさしのようすや、由来について話を聞きました。また、きなこをまぶしただんごを皆で味わい、「野菜がいっぱい食べられますように」「いつまでも元気でいられますように」など、だんごさしにこめた願い事も発表しました。

心温まるひとときを過ごした園児たちは、退席する会の皆さんに駆け寄り、抱きついたり握手をしたりして「ありがとう」とお礼を言い、会の皆さんも「こちらこそ」「また来るね」と一人ひとりに言葉をかけていました。

「ありがとう」心に残るだんごさし

1/15